

府中町コミュニティバスの運行改善に関する研究

広島工業大学 正会員 ○大東 延幸
広島工業大学 学生会員 池田 諒

1. 研究の背景と目的

広島県府中町はその斜面に人口 1 万人規模の斜面住宅団地が立地している。主な公共交通手段はバスであるが、運賃や待ち時間等の問題点があり、すでに自家用車を所有している者が多く、そのため公共交通の利用者が減少し、自家用車を利用し、交通渋滞が発生し、バスを運行しにくくなるという悪循環が生じている。加えて、近年では高齢化が進み、斜面住宅団地内での生活交通は利用しやすい自家用車に頼りがちである。しかしながら、自動車免許を保有していない人や高齢者にとって、自家用車を利用しにくい状況であり、交通弱者の状態にあると考えられる。府中町は斜面に住宅が多いことから地域の主な公共交通手段は路線バスやコミュニティバスである。本研究は、現状のコミュニティバスである「つばきバス」の問題点を抽出し、将来、利便性向上を目指した効果的・現実的な改善案を提示するための基となる事が目的である。

2. つばきバスの概要

「つばきバス」は、ワンコイン（100 円）で乗れるコミュニティバスとして 2003 年（H15）10 月より運行を開始している。「イオンモール広島府中」を起点にして同じルートを「右回り」と「左回り」の 2 種類の路線で運行し、町内を 8 の字に循環する。また、所要時間は右回り・左回り共に 1 時間 5 分となっている¹⁾。

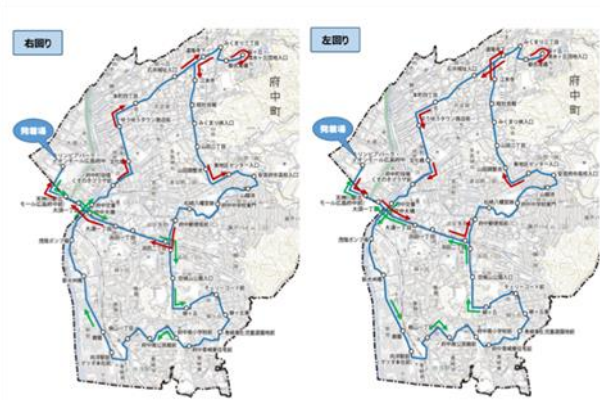


図 1 つばきバス路線図

表 1 つばきバスの運行概要

	右回り		左回り	
	平日・土	日祝	平日・土	日祝
始発便	8:00		8:30	
最終便	18:30		19:00	17:30
1日の便数	8便		8便	7便
運行間隔	1時間30分		1時間30分	
1週の所要時間	1時間5分		1時間5分	
1週のバス停数	49箇所		49箇所	

3. 調査の概要

府中町民の意見や行動および「つばきバス」の利用実態を把握するため、住民調査とバス利用者に対する調査を行った。(回収率 49.9%)

表 2 住民アンケート調査

項目	主な内容
調査対象	町内に移住する15歳以上の4,000人 (住民基本台帳から無作為抽出)
調査方法	郵送配布、郵送回収
調査期間	平成31年1月10日（木）～ 平成31年1月31日（木）
調査内容	・個人属性 ・日常の移動の状況 ・公共交通の利用状況や利用意向、満足度、要望

表 3 つばきバス利用者アンケート調査

項目	主な内容
調査対象	つばきバス利用者を対象
調査方法	調査員による直接配布、郵送回収、WEBアンケート
調査期間	平成31年1月10日（木） 11日（金）13日（日）
調査内容	・個人属性 ・つばきバスの利用実態 ・つばきバスの利用意向、満足度 ・つばきバスの問題点や意見および要望

4. つばきバスの問題点

利用者の「全体的な満足度」は、7 割を超える者が「満足」「どちらかと言えば満足」と回答しており、サービスに対する利用満足度は比較的高いと考えられる。しかしながら、「運行間隔や運行本数」に対する満足度は他の項目に比べて極めて低い水準にあり、「始発便や最終便の時間帯」に対しても満足度は低くなっている。

キーワード バス、公共交通機関、利便性、
連絡先 広島工業大学工学部環境土木工学科 〒731-5193 広島市佐伯区三宅 2 丁目 1 - 1 Tel 082 - 921 - 5483

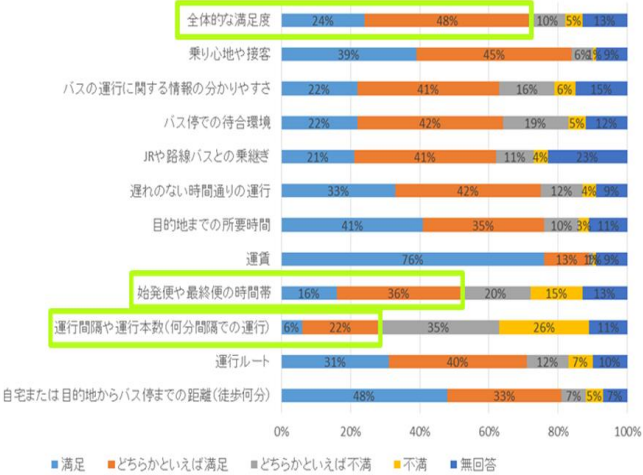


図2 つばきバスの利用満足度

つばきバスの利用しやすさに対する満足度は、町全域では約7割の者が「満足」「どちらかといえば満足」と回答している。各地域で見ると、特に大通は8割を超える満足度である。一方で、浜田本町においては、「不満」「どちらかといえば不満」と回答した者が半数を超えている。このように差がつく理由は、バス停までの距離などバスの利用しやすさや住民の属性が関連していると考えられる。

このように府中町は、全体としてはつばきバスの満足度が高いが、地区の事情によって、つばきバスの満足度に格差があると考えられる。

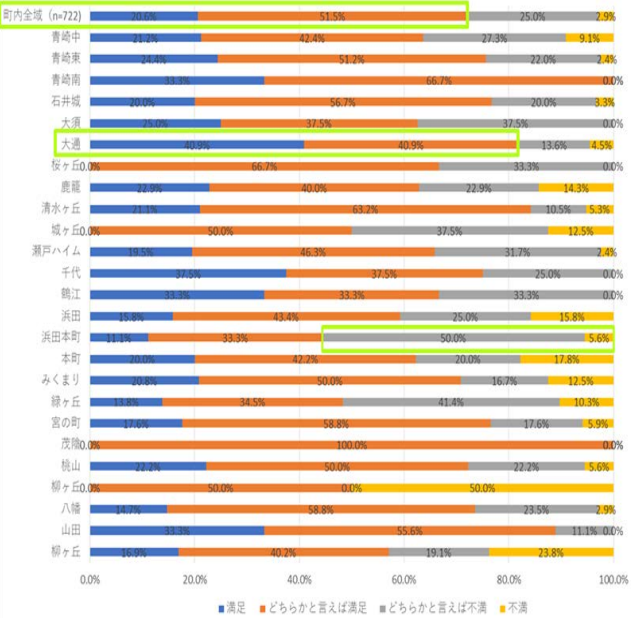


図3 地域別のつばきバス満足度

住民アンケートより「利用したい時間帯に便がない」「運行便数が少ない」「路線、時刻、乗り換え等の情報が分かりにくい」という意見が多くあった。

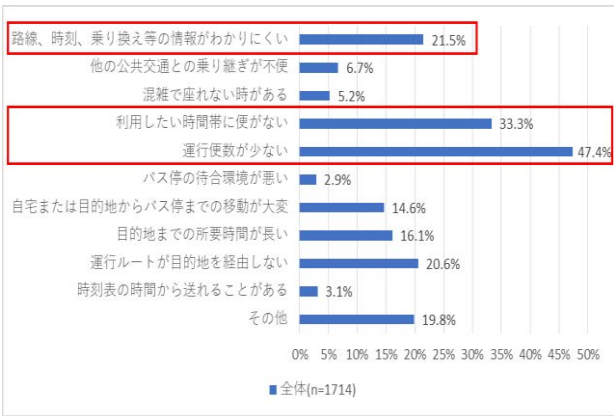


図4 つばきバスの不満な点

イオンモール広島府中からチェリーゴード前までの利用が最も多く朝の時間帯に定期的な利用が見られることから、通勤で利用されていると考えられる。

つばきバス（左回り）のバス停間（乗車 - 降車）の利用状況は、右回りとは反対に北側地域内での利用が半数を占め、南側地域内での利用が約3割、南北間の利用は2割程度となっている。

イオンモール広島府中から山越池や浜田2丁目などへの利用が多く、昼間や夕方などの利用が多く見られることから、買い物などからの帰宅で利用されていると考えられる。

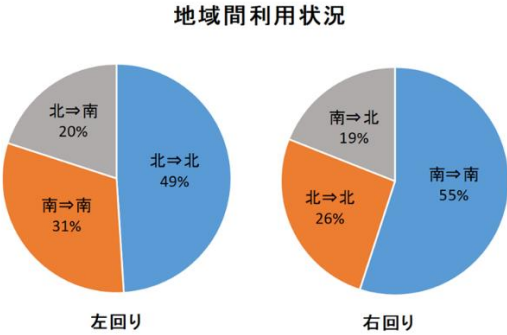


図5 地域間利用状況（左回り・右回り）

8. まとめ

本研究では、現状の「つばきバス」の問題点を抽出した。今後、利便性の高い「つばきバス」を提供するために効果的・現実的な改善案を検討したい。

9. 参考文献

- 1) 府中町公式サイト「つばきバス運行経路・時刻表」
<https://www.town.fuchu.hiroshima.jp/site/matidukuri/462.html>